

お客様各位

株式会社 山喜農園  
 新潟県魚沼市原1280-1  
 TEL. 025-794-2455  
 FAX. 794-4168  
 E-mail: info@yamaki-noen.co.jp  
 HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

## 球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

2014年産ラナンキュラス産百合球根在庫表最新版（11月1日付）をお送りいたします。  
 よろしくご確認ください。

1EURO=¥139.0/¥143.0にて計算しています。

8月末日までの受注分は、1EURO=¥139.0-（期間平均¥140.94-）

9月期受注分は、1EURO=¥139.5-（期間平均¥139.80-）

10月期受注分は、1EURO=¥139.0-にて、計算いたしました。

10月のTTS平均レートは、¥138.46-でしたが…（1月～10月の平均¥140.78-…）

円安が進んできましたが、なんとか1EURO=¥140.0-以下におさめる様に頑張っております。

\*12月以降は厳しくなりそうです。

ラナンキュラスの気象推移は、10月に入っても高温が維持されていた様です。

南部ラナンキュラスでは、10月17～19日頃まで地温が13℃以下に下がっておらず…自然条件下では、休眠打破の為の低温積算を、ほとんどしていないという事になります。

鉄砲百合/A.H/L.Aの掘り取りは既に開始されていますが、春先から現在に至るまで、生育が停滞するような期間がほとんどなかった為、見てくれの球根は（外観上の球根は…）、「しまっていて、キレイだ。」そうです。

充実が遅れていることを心配していますから、ちょっとだけ「ホッ」としています。

東部地区で生産されているL.Aデジール・R.トリシティ・セラガ・インディアンダイヤモンド・エルデボ・ハイドパークなどでは、作があまり良くなく、欠品が予測されるとの事。（当社若干在庫有るのでなんとかその範囲で…。）

ノースホルダー地区（L.A最大生産地）においては、「作は良さそう」との事です。

O.H/O.Tの状況は、まだ見えてきませんが、「水害」の影響を受けている畑以外については悪い話は聞こえてきません。

一方、発注確保業務がやや遅れていた中国をはじめとした各国の仕入作業は、9月/10月ともに順調に推移したとの事。現在までの所、「ラナンキュラス球根市場」における価格下降は、確認できない様です。

追記

	世界市場消費	日本市場消費
A.H/L.A消費量	約7億～7億5千万 球	約3千万 球
鉄砲百合/L.O消費量	不明球数	約3百万 球 (外国産球根鉄砲)
ドライセール	不明球数	約5百万 球
O.H/O.T消費量	約9億～9億5千万 球	約8千6百万 球
内アジア/オセアニア消費量	約5億球 (O.H/O.T世界消費の内輪)	
内ベトナム/中国消費量	約3億2千万～3億5千万球 (O.H/O.T世界消費の内輪)	

2013年産オランダ産百合球根/2014年産南半球産百合球根で、日本に入荷される百合球根（ケース数）は、約55万～60万ケースの間。（日本の球根冷蔵庫は、守れるのか…。）

日本のA.H/L.A輸入量のピークは、1995年産で、約1億3千万球。

日本のO.H/O.T輸入量のピークは、2003年産で、約1億2千万球。

世界における日本のA.H/L.Aマーケットの影響力は、かなり減少してきている。（5%以下）

生き残ったA.H/L.A切花農家には、今後も頑張っていたきたいところ！（球根屋も頑張ります！）

O.H/O.Tについても、10%以下の占有率となってしまったが、まだまだ重要度が高い国として扱ってもらっている。今後も「日本中で力を合わせて頑張っていきたい。」

10月末の日本の球根業社の在庫状況は、多いのか少ないのかはわからないが、品揃えは良さそうに見える。

オランダ球根業社在庫についても、**「新品種流通在庫が復活してきている様に見える！」**。

「在来系特殊コレクション」をしっかり守りつつ、「将来につながる品種の導入」をよろしくお願い致します。

「百合球根流通は、クリエイティブではない…。」

「泥臭い…。」

「そんな事だから飽きられるんだそうです…。」

「どうやったら、花屋さんに喜んでもらえるんでしょうかね？」

「頑張る方向性は…？」

\*大体、私がネガティブな事を書く時は、「明るい兆し」が見えてきた時です！



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLPIJの趣旨に賛同し  
協力・応援しています

以上  
森山 隆